

## 工学研究科の理念・目的、教育目標、アドミッションポリシー

### 理念・目的

工学は人間の生活や社会に直接かかわる応用的科学技術の分野であるという認識を前提にして、人間と自然の調和、共生という観点に立ち、地域社会発展に資する工学技術を推し進め、創意工夫を行う。この理念の下に、国民の健康で文化的な生活を確保するとともに、人類の福祉に貢献する工学技術者を養成する。

### 教育目標

工学研究科で行う教育は、以下に示す事項を達成することを目標とする。

- ①社会の変化、技術の進展に対応できる  
専門分野の基礎学力を持つ人材の養成。
- ②高い倫理観を有し、新しい課題を自ら考えかつ実行する能力を有し、  
社会および組織でリーダーシップが発揮できる人材の養成。
- ③自律心、隣人愛を有し、国際的に活躍できる人材の養成。

### アドミッションポリシー

これまでの大学では学部での教育が中心でありましたが、近年大学院教育に対する社会の要請が強くなっています。従来の大学院教育は、研究者養成、大学教員の後継者養成に重点がおかれており、一部の大学を除き、大学院に進学を希望する学生の数はあまり多くなく、入学定員も限られておりました。しかし、最近では、単に研究者養成だけでなく、高度専門職の能力を持った人材の養成や社会人の再教育・研修などの役割への期待が高まっています。学部教育においては専門教育に繋がる基礎教育を中心にし、大学院教育においては学部教育をベースにしてさらに高度な教育あるいは、実践的な専門教育を行うという様な形での大学院教育のさらなる充実が求

められてきています。国際的な競争に勝ち抜くために、大学院修了生を中心とした人材採用を推進している企業も少なくありません。東北学院大学工学研究科では、このような社会状況の変化に対応するため、次のような入学者を求めます。

- ①基礎学力と柔軟な思考能力を有し、自主的に学ぶ姿勢のある人。
- ②専門分野の将来的な進展に強く関わりたいという夢と情熱を持ち、  
自ら問題を見出し、解決しようとする意欲のある人。
- ③専門知識と洞察力を身につけ、国際的視野のもとに社会の発展に貢献したいと考えている人。

## 工学研究科の教学上の方針

### 博士課程前期課程

#### 学位授与の方針

- ◎工学研究科は、博士課程前期課程において、所定の履修細則に従って32単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで提出した修士論文の審査及び最終試験によって、次の学修成果が確認できた者に、「修士(工学)」の学位を授与する。
- ◎工学に関する幅広い視野、基本的な知識及び思考力を有する。
- ◎工学に関するいくつかの特定テーマについて専門的な知識を有する。
- ◎工学に関する研究課題について、専門的で学術的な価値のある知見を有する。
- ◎工学に関する学術研究の遂行及び成果の公表にむけて、研究者として必要な知識、技能、意識を有する。

#### 教育課程編成・実施の方針

- ◎工学研究科は、博士課程前期課程において、学位授与の方針に定めた学修成果を達成するため、次の方針により、体系的・順次的な教育課程を編成・実施する。
- ◎学位授与の方針に定めた学修成果1を達成することを主たる目的として、専攻別の科目を置くほか、関連科目として他専攻の科目の履修も可能とする。
- ◎学位授与の方針に定めた学修成果2、3を達成することを主たる目的として、「工学修士研修」及び「工学特別演習」を置き、必要な研究指導を行う。
- ◎学位授与の方針に定めた学修成果4を達成することを主たる目的として、「修士論文」を課すほか、「技術経営特論」及び「知的財産特論」を置き、いずれか1科目を必修とする。

#### 入学者受け入れの方針

- ◎工学研究科は、次の点を確認することにより、博士課程前期課程への入学者を受け入れる。
- ◎専門分野を学ぶための基礎学力と柔軟な思考能力及び自主的に学ぶ姿勢を有する。
- ◎専門分野の将来的な社会の変化、科学技術の進展に強く関わる情熱を持ち、自ら問題を見出し、解決しようとする意欲を有する。
- ◎専門知識と洞察力を身につけ、国際的視野のもとに社会の発展に貢献したい意思を有する。

### 博士課程後期課程

#### 学位授与の方針

- ◎工学研究科は、博士課程後期課程において、所定の履修細則に従って16単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで提出した博士論文の審査及び最終試験によって、次の学修成果が確認できた者に、「博士(工学)」の学位を授与する。
- ◎工学に関する幅広い視野、専門的な知識及び思考力を有する。
- ◎工学に関する研究課題について、高度に専門的で、学術的な価値の高い知見を有する。
- ◎工学に関する学術研究の継続的遂行及び成果の公表にむけて、自立した研究者として必要な知識、技能、意識を有する。

#### 教育課程編成・実施の方針

- ◎工学研究科は、博士課程後期課程において、学位授与の方針に定めた学修成果を達成するため、次の方針により、体系的・順次的な教育課程を編成・実施する。
- ◎学位授与の方針に定めた学修成果1を達成することを主たる目的として、学際基盤科目を修得する。また、「技術経営特論」及び「知的財産特論」について、前期課程で修得していない場合、いずれか1科目を必修とする。
- ◎学位授与の方針に定めた学修成果2を達成することを主たる目的として、「工学修士研修」を置き必修とする。また「インターンシップ研修」、「工学特別研修」及び「工学特別実習」を置く。
- ◎学位授与の方針に定めた学修成果3を達成することを主たる目的として、「修士論文」を課し、必要な研究指導を行う。

#### 入学者受け入れの方針

- ◎工学研究科は、次の点を確認することにより、博士課程後期課程への入学者を受け入れる。
- ◎工学に関する研究者の養成という、この課程の目的に合致する入学志望動機と研究課題を有する。
- ◎この課程における学修に必要な、高い水準の一般的学力(外国語を含む。)を有する。
- ◎この課程における学修に必要な、工学に関する高度に専門的な知識を有する。
- ◎研究課題に関して、専門的で学術的価値のある知見を有する。